かみつけの文化に親しむ会

第33回　定例学習会のご案内

かみつけの文化に親しむ会の33回目の学習会は、日本の文化を担ってきた和算について学びたいと思います。

当会として初めて、和算について学ぶ機会を持つことになりました。上毛かるたでは「和算の大家関孝和」と詠われておりますように、江戸時代には、明治時代になって西洋数学を受容する土台となる『和算』が地域に普及され、地域の文化をつくる上で重要な役割を果たしていたようです。

講師の小林龍彦先生は、地域の文化に根差してきた和算を研究してこられ、群馬県和算研究会の会長をされ、和算の普及と啓蒙にご尽力されております。学習会では、地域の神社にも掲げられている和算の内容にも触れていただき、和算と身近な生活との関わりについて学んでまいります。

忘れさられてきた和算を学び、先人の業績を学び、地域や上毛かるたを見つめなおす機会になれば幸いです。皆様方のご来場を心よりお待ちしております。

かみつけの文化に親しむ会　第33回定例学習会

日　時：　平成28年7月2日（土）　午後2時～4時（1時30分開場）

会　場：　前橋市民文化会館大胡分館（大胡シャンテ）2F視聴覚室

参加費：　一般参加者は資料代として500円、かみつけの文化に親しむ会の会員は無料

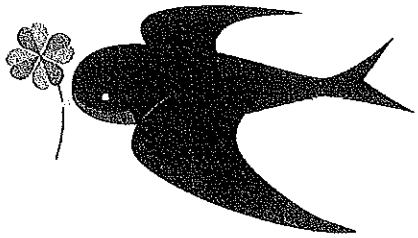
テーマ：　**「江戸時代の数学　和算」－和算王国群馬を中心にして－**

講　師：　**小林 龍彦 氏**

前橋工科大学名誉教授
群馬県和算研究会会長

共著『教養の数学入門』東京図書、『和算家の生涯と業績』多賀出版
『幕末の偉大なる数学者 その生涯と業績』多賀出版

主　催：　かみつけの文化に親しむ会



【お問い合わせ先】事務局
前橋市堀越町1002-4
電話 027-283-8781（松田）